



神戸天然物化学株式会社

# 成長可能性に関する説明資料

証券コード：6568

2018年3月15日



1

## 会社概要 … 3

有機化合物の受託研究・開発・量産を手掛ける先端技術会社

2

## 当社の強み … 11

研究・開発・量産のあらゆるステージで一貫してソリューションを提供

3

## 成長戦略 … 16

量産設備の拡充と、次世代の生産技術の獲得で、更なる成長を目指す

# 会社概要

---

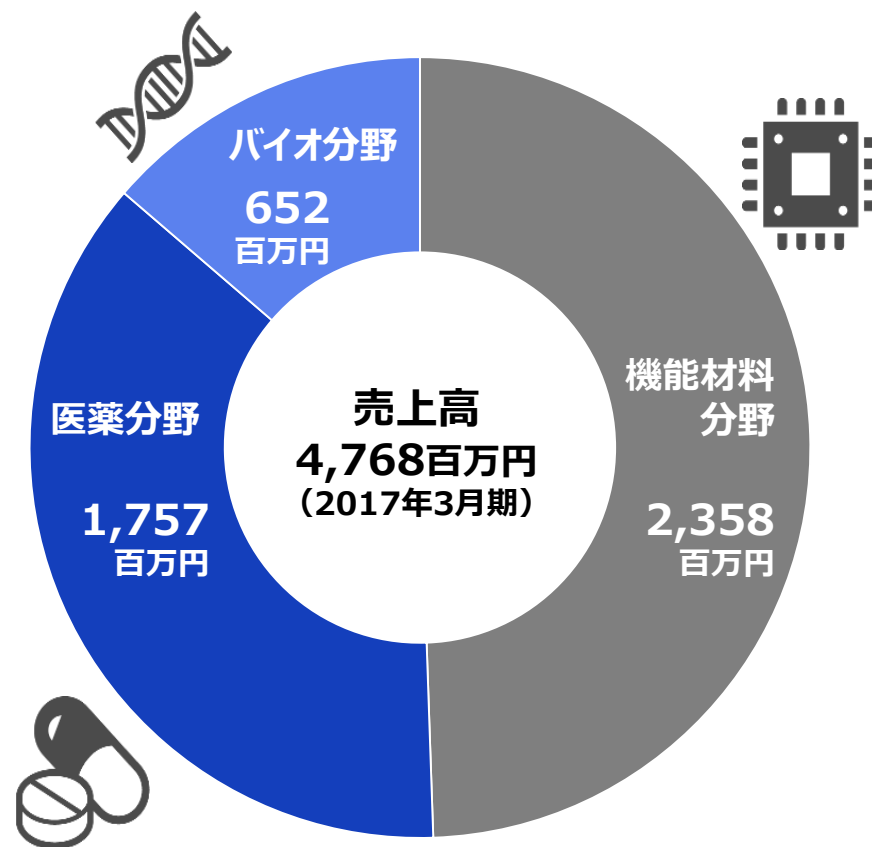


# 1-1. 会社概要

## 会社概要

社名	神戸天然物化学株式会社 KNC Laboratories Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 広瀬 克利
設立年月	1985年1月
本社住所	神戸市西区高塚台三丁目2番地の3 4
事業内容	有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業
役員・従業員数	253名 (2018年1月末)
拠点	兵庫県 (本社・神戸工場・神戸研究所、岩岡工場 市川研究所、KNCバイオリサーチセンター) 島根県 (出雲第一工場・第二工場)
総資産	9,260百万円 (2017年12月末)

## 売上高構成比

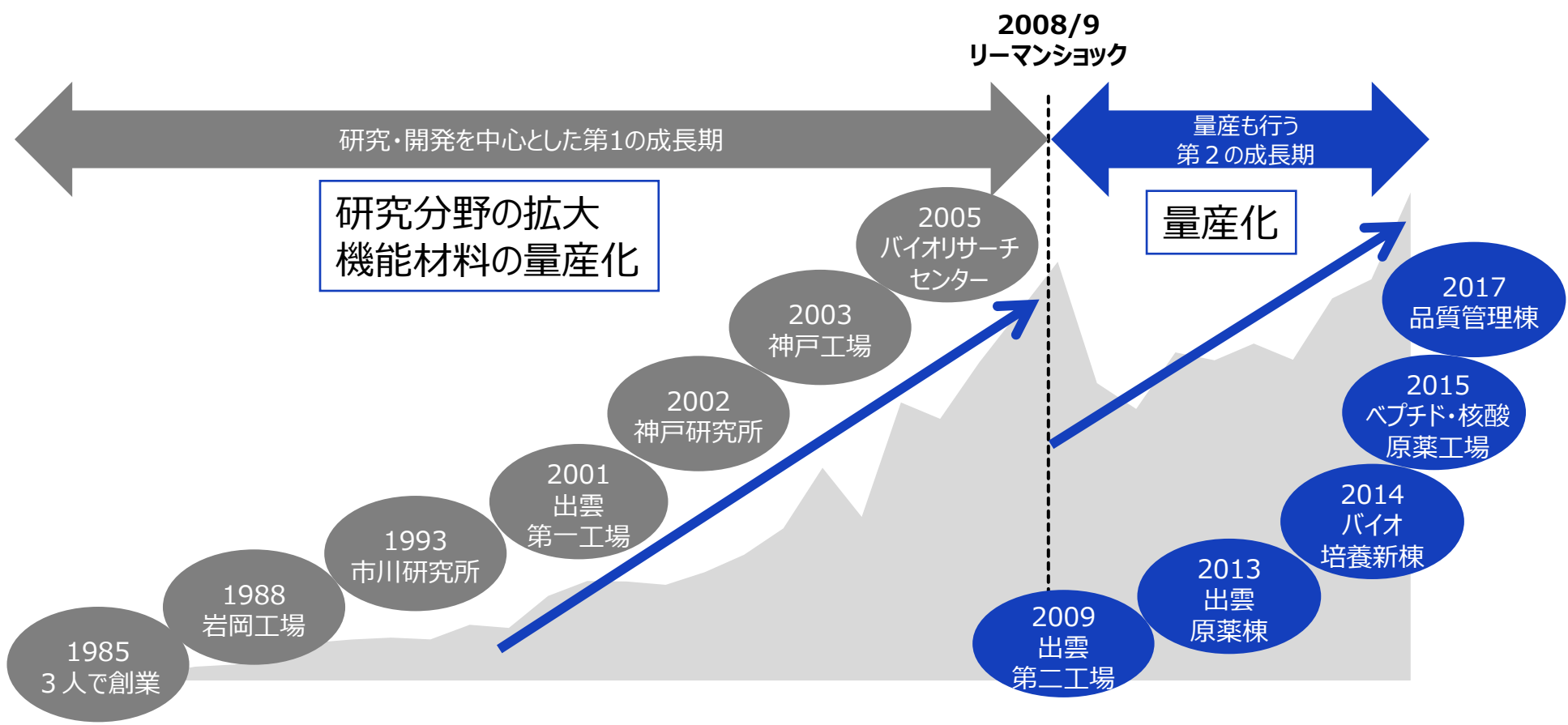




# 1-2. 沿革

- 「発展」をテーマとして33年の実績
- 現在は、従来の研究・開発分野から量産分野にも進出した「第2の成長期」

## 当社33年の発展





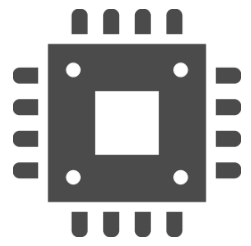
# 1-3. 主要事業概要

- 当社は、機能材料事業、医薬事業、バイオ事業の3事業を展開

## 機能材料事業

### 電子材料や医薬用原料等を生産・供給

表示材料、半導体製造用化学品、カーボンナノチューブ分散体  
省令規制対象外医薬用原料、治験薬用原料  
農薬研究用化合物



## 医薬事業

### 治験原薬・医薬原薬等を生産・供給

医薬研究開発用化合物・治験原薬・医薬原薬



## バイオ事業

### 遺伝子組換え微生物による有用物質を生産・供給

医薬研究開発用化合物・治験原薬・医薬原薬  
抗体医薬製造用助剤

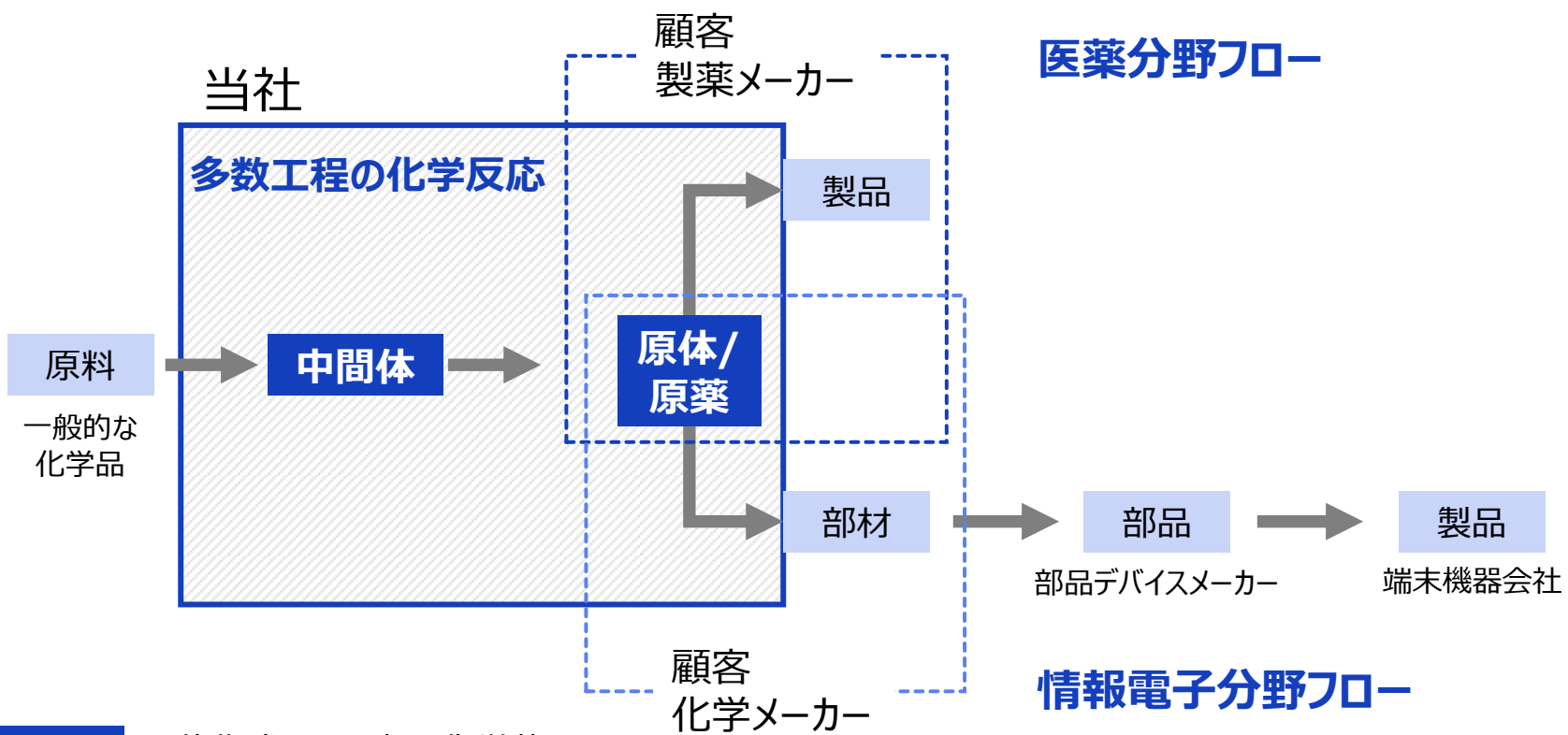




# 1-4. バリューフロー

- 有機化合物の単純受託ではなく、大手化学・製薬メーカーに高付加価値な製品・サービス（当社独自のソリューション）をタイムリーに提供

## 当社のバリューフロー



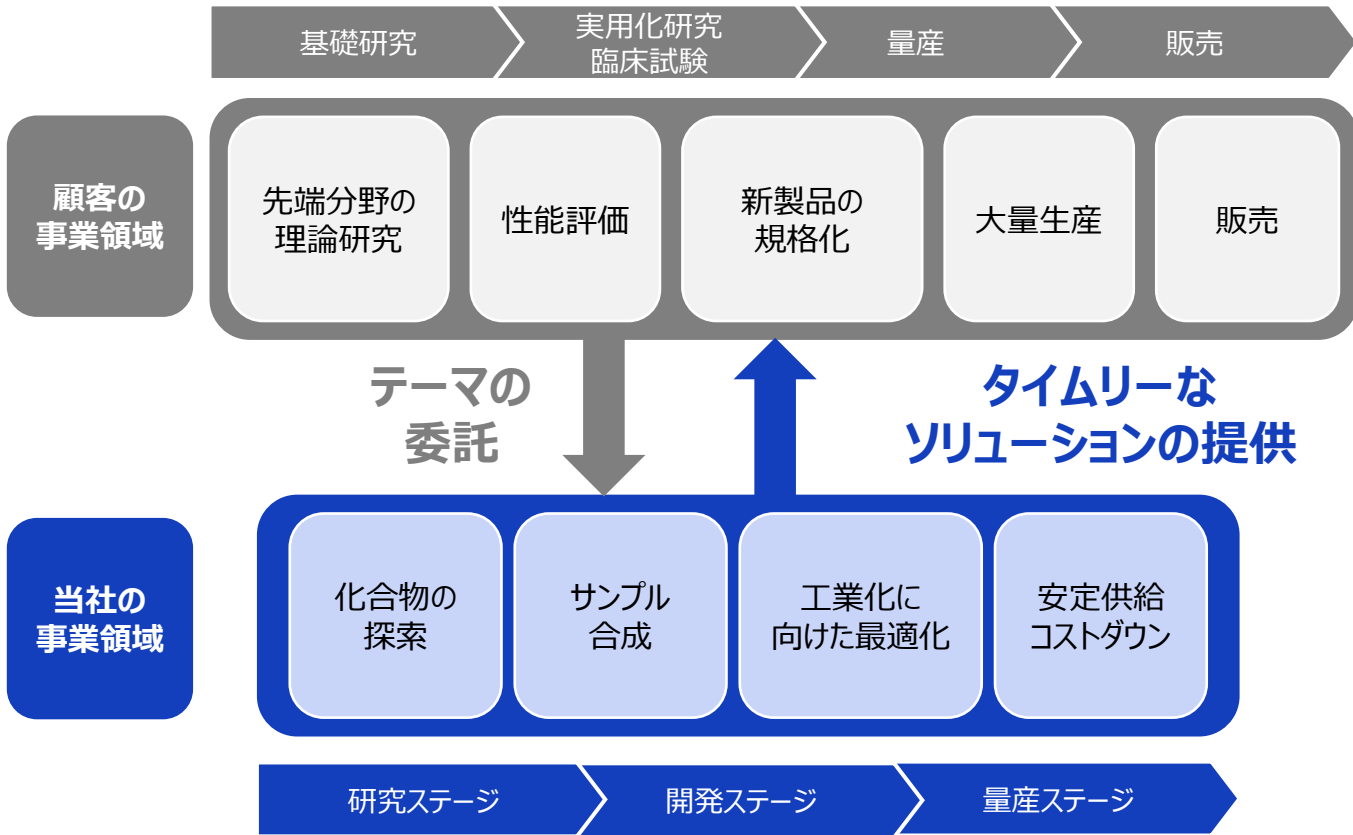
- 中間体** 原体作成に至る専用化学薬品
- 原体** 薬品・機能の有効成分を有する化合物



# 1-5. 事業領域

- 有機化合物の単純受託ではなく、当社独自のソリューションをタイムリーに提供

## 当社と顧客の事業領域



- 顧客（＝大企業）は、新産業・新製品の創出を目的とするフィールドを主戦場としている
- 当社は、有機合成分野において、顧客のあらゆるステージで、バリューチェーンを補完することを主戦場としている
- 顧客からテーマを受託し、「スピードと対応力」をモットーに、高付加価値なソリューションを提供する

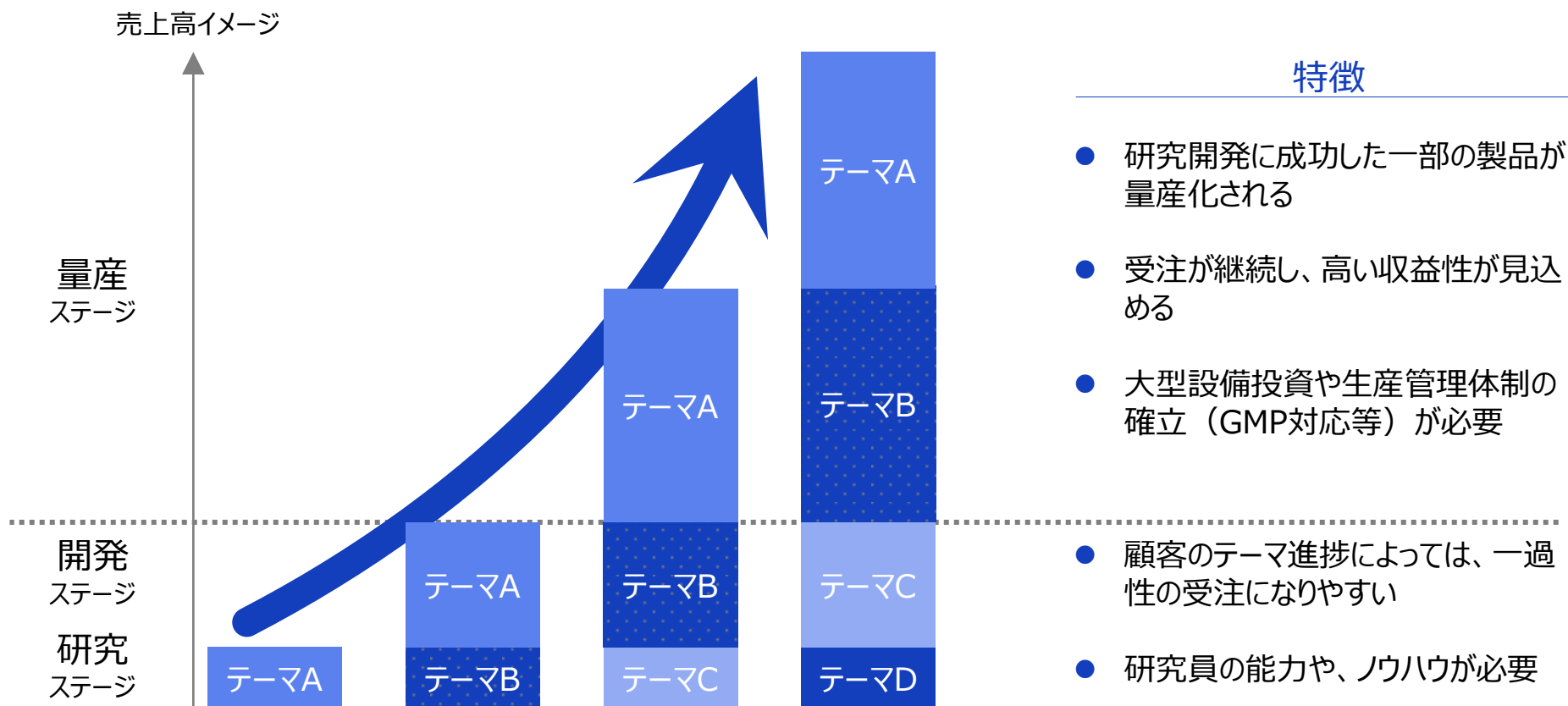




## 1-6. ビジネスモデル

- 研究・開発・量産とステージアップし、1つのテーマを大きく成長させるビジネスモデル
- 顧客に対してワン・ストップ・サービスを提供

### 1つのテーマを成長させ、量産ステージで多くの収益を獲得するビジネスモデル



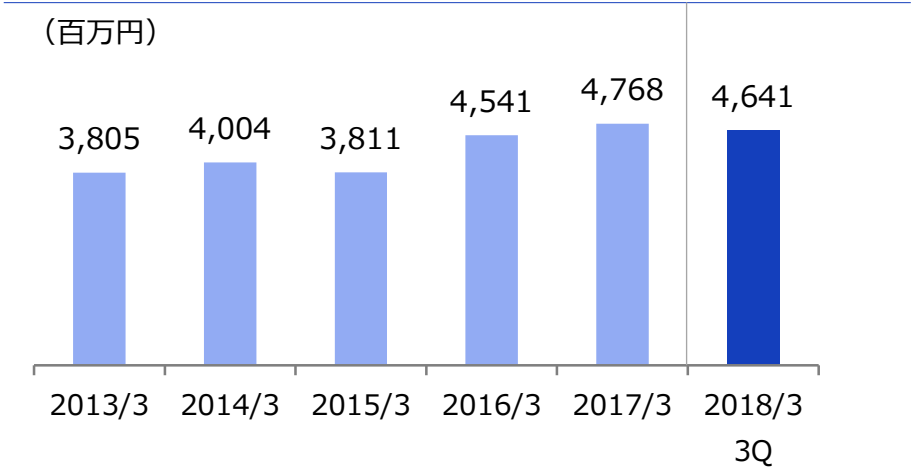
GMP：医薬品等の製造管理および品質管理に関する基準



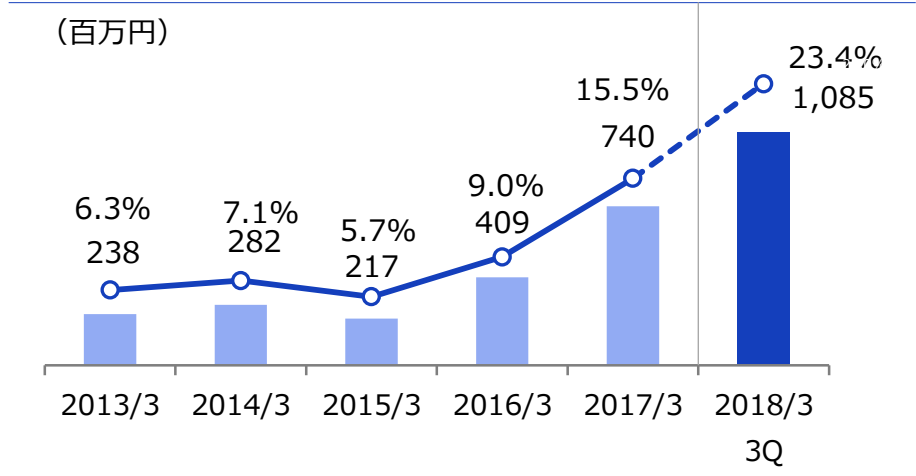
# 1-7. 業績推移

## EBITDAマージンで30%超の収益性

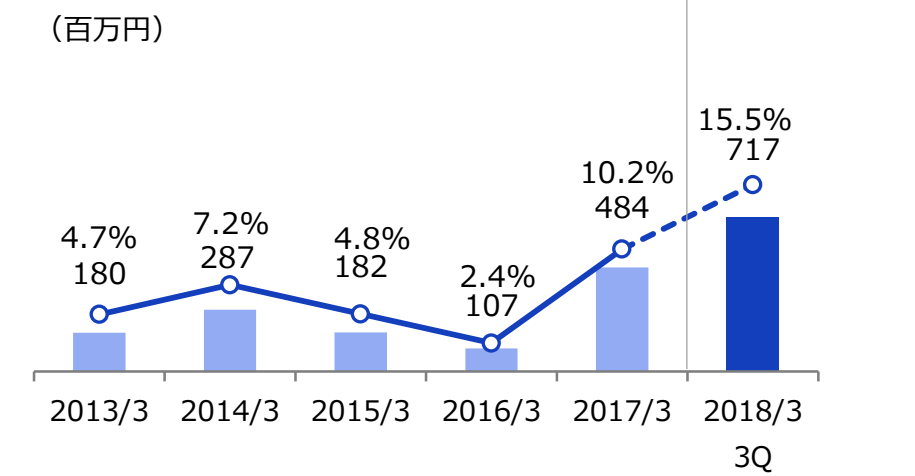
### 売上高



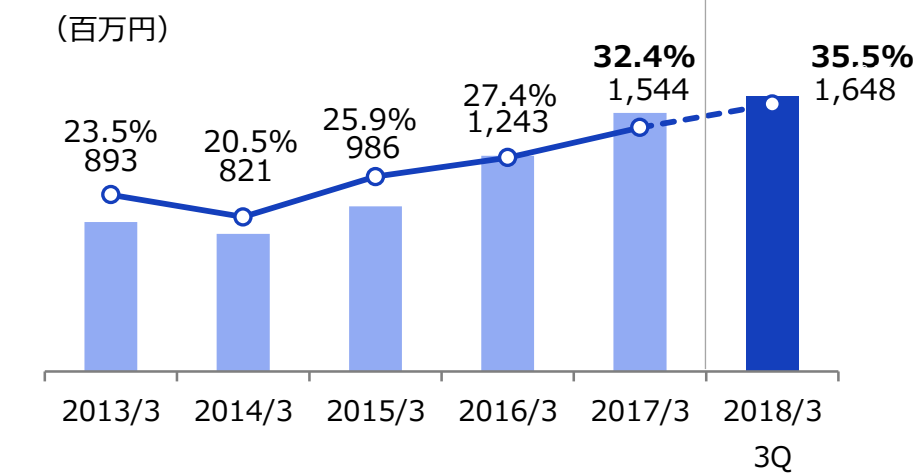
### 経常利益・経常利益率



### 当期純利益



### EBITDA・EBITDAマージン



2016年3月期は連結財務諸表を作成しておりますが、上記は全て単体の数値を記載しております。

# 当社の強み

---

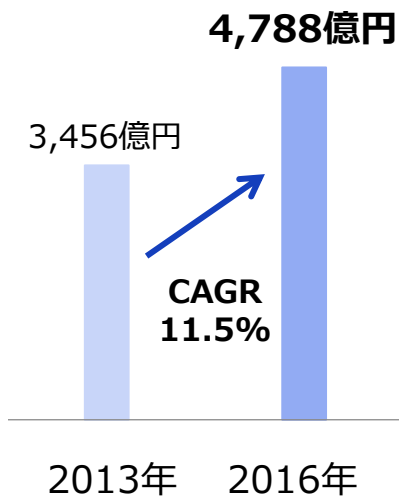


## 2-1. 研究開発・生産の分業化の流れ

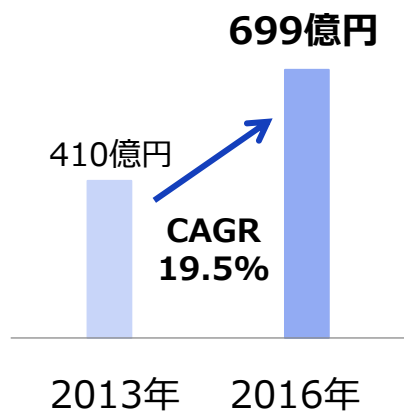
- 日本国内における医薬品業界、化学業界における研究活動の外注は増加傾向
- 分業化の流れは今後ますます拡大する見込みであり、当社に対するニーズは拡大

### 研究開発の外注市場

#### 医薬品

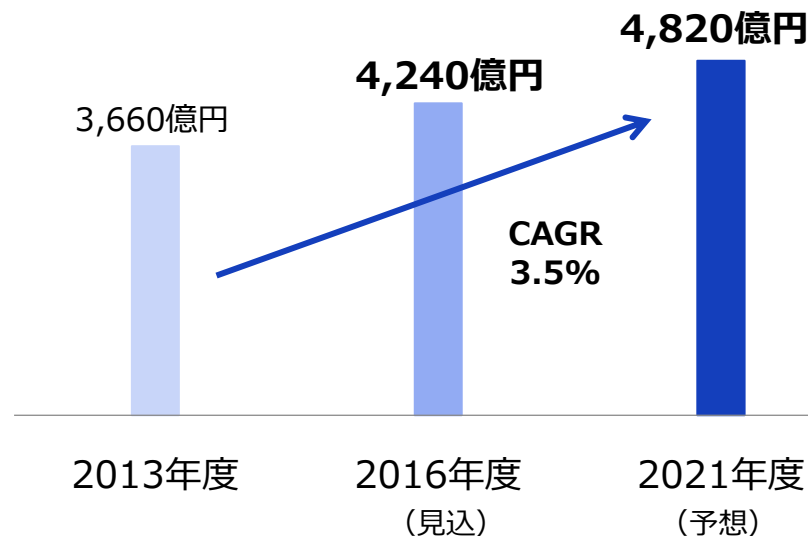


#### 化学品



### 量産品の外注市場

#### 原薬・中間体



出典：総務省統計局 科学技術研究調査  
産業，資本金階級別研究関係従業者数，社内使用研究費，  
受入研究費及び外部支出研究費（企業）  
（加工して使用）

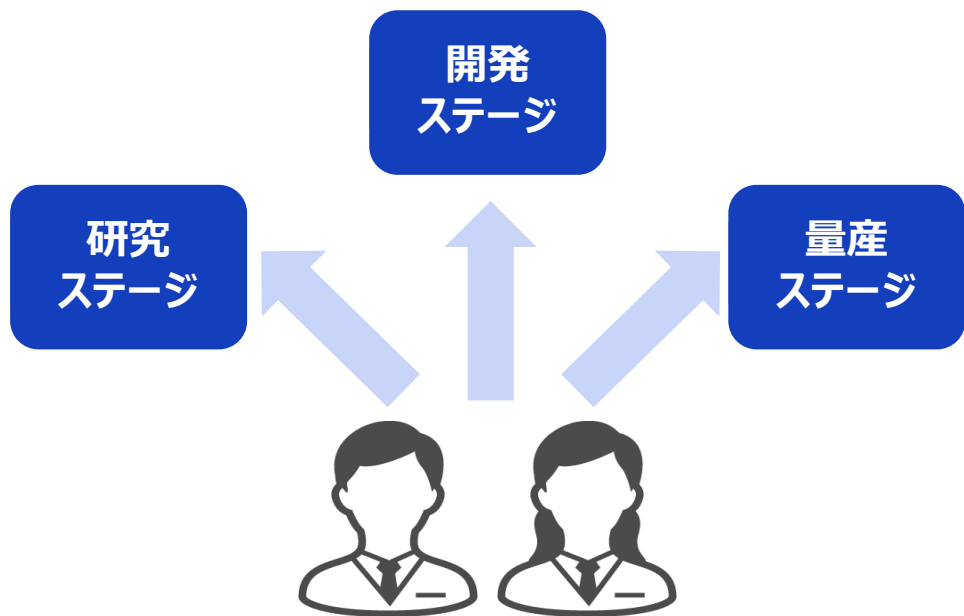
出典：株式会社矢野経済研究所  
「医薬品原薬・中間体市場の展望と戦略」2017年版



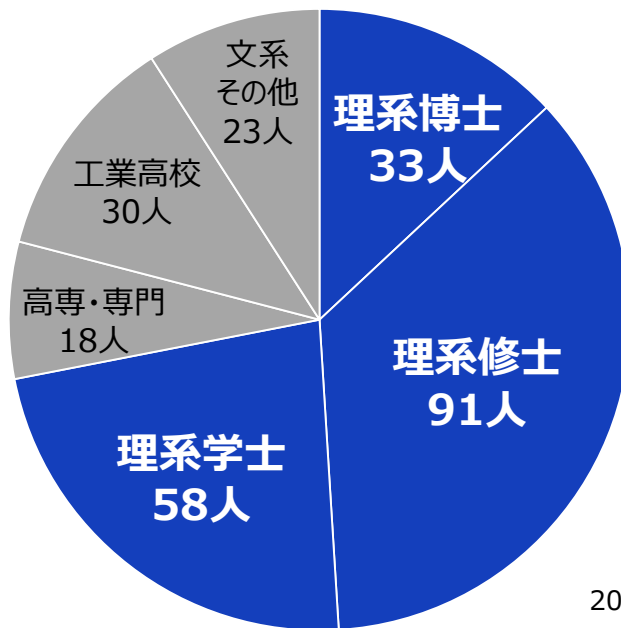
## 2-2. 高度な技術者集団

- 各人が研究から開発まで幅広いテーマを扱うことでノウハウが社内に蓄積
- 役員・従業員253名のうち7割以上が理系大卒者であり、研究・開発ステージを牽引

### 全てのステージを扱うことでノウハウが蓄積する環境



### 役員・従業員に占める「理系」社員の割合



- 社員は研究・開発・量産のあらゆるステージに関与
- 当社の技術、ノウハウ、知見を幅広く習得できる環境

- ソリューションを提供するためには問題発見、解決能力が不可欠
- 当社の社員は入社時点で一定の素養を習得している



## 2-3. ニーズを把握した設備投資

- 顧客のニーズを把握した先行投資により、高度な研究・開発技術の獲得や、先端技術を用いた量産化に対応

### 研究・開発・量産に対応可能な設備

研究ラボ



開発設備



### 次世代への先行投資

中分子分野 開発設備



研究・開発  
への対応

機能材料 量産設備



医薬 原薬量産設備



バイオ 培養量産設備



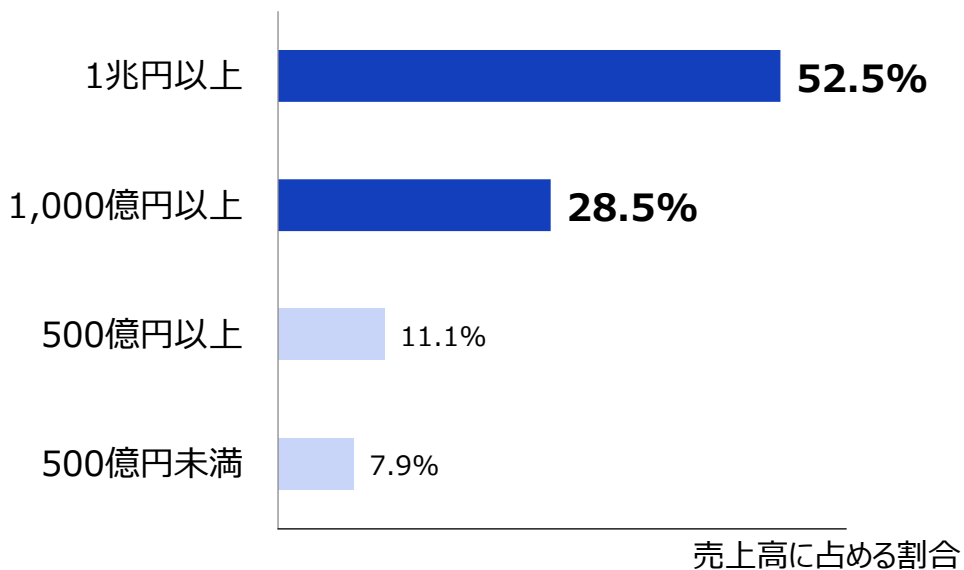
量産への  
対応



## 2-4. 優良な顧客基盤

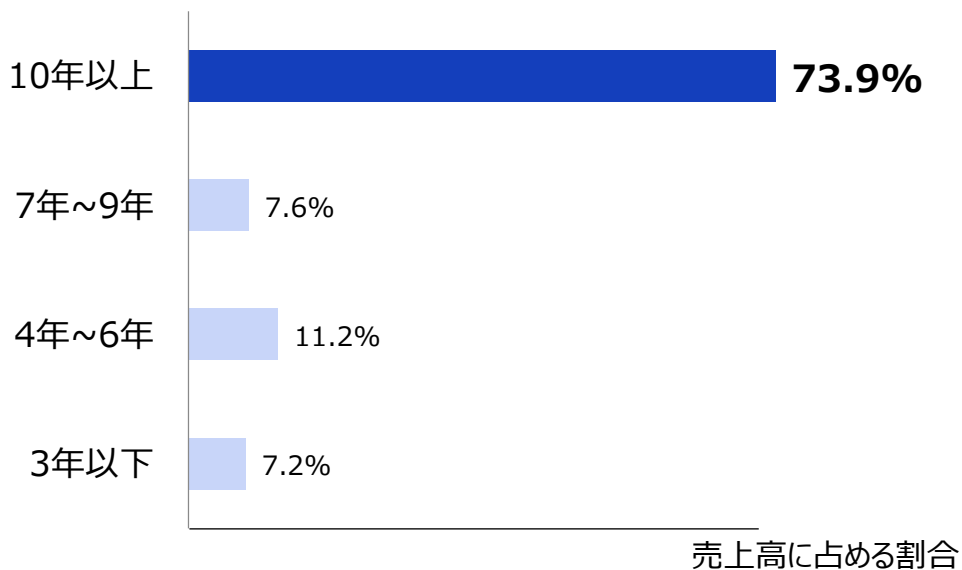
- 顧客の大半は、売上規模1兆円を超える大手化学・製薬メーカー
- 長期にわたる取引実績が、顧客との強い信頼関係の証
- 大企業の主戦場は先端産業分野での新産業の創出及び新商品の開発

### 顧客の売上規模



注：2017/3期における売上上位50社  
(売上高の95.3%に相当)

### 顧客との取引年数



注：当社の2017/3期における顧客別売上

- 事業規模の大きな顧客との取引が大半を占めている
- 取引年数に従い、当社の技術力が評価され、信頼関係が醸成される
- 過去12年間で累計約590社との取引実績
- 取引年数が長い顧客から、大きなテーマを受注できる

# 成長戦略

---

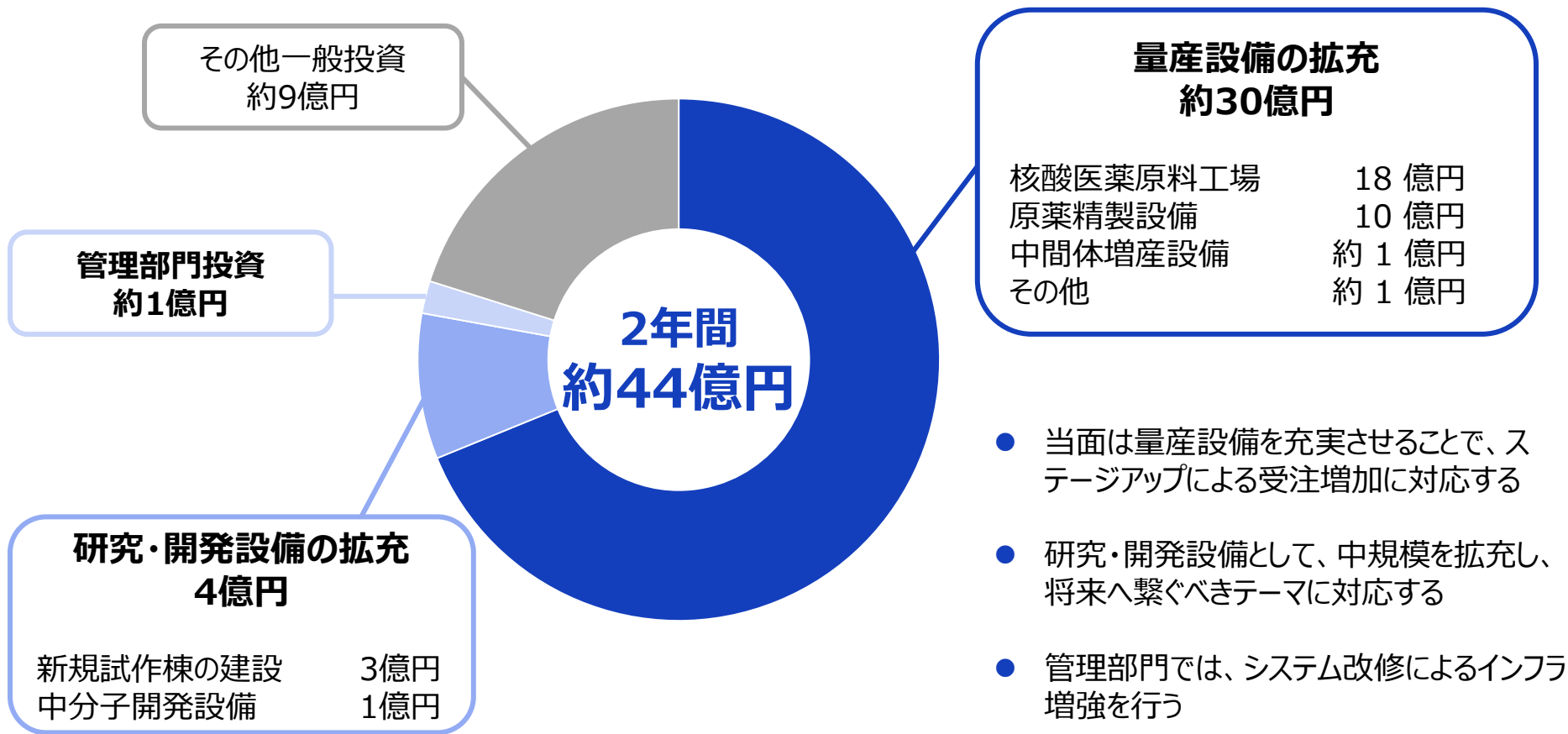




# 3-1. 設備投資計画

- 2年で総額約44億円の設備投資を計画
- そのうち約30億円が量産ステージの設備の拡充を目的とした戦略投資

## 今後2年間の設備投資計画の内訳



- 当面は量産設備を充実させることで、ステージアップによる受注増加に対応する
- 研究・開発設備として、中規模を拡充し、将来へ繋ぐべきテーマに対応する
- 管理部門では、システム改修によるインフラ増強を行う



## 3-2. 研究投資計画 自社研究の推進 (1/2)

- 次世代産業である中分子医薬（糖鎖・核酸・ペプチド）に関する技術開発を積極的に実施し、研究・開発ステージでの受注へ向けてノウハウを蓄積

### 研究開発活動とその成果

分野	現時点の成果	研究テーマ	期間	主な共同研究先	競争的資金/事業母体
中分子 医薬	試薬販売 受託研究 原料生産	核酸医薬の医師主導治験薬の創製	2008年度～ 2011年度	神戸大学	NEDO
	特許出願	正常型CD44mRNAの発現を増加させる核酸医薬の創製	2013年度～ 2014年度	神戸学院大学	兵庫県COE
	特許出願	前頭側頭型認知症治療薬の開発	2016年度～	名古屋大学 大阪大学	AMED
	ノウハウの蓄積	糖鎖利用による革新的創薬技術開発	2016年度～ 2020年度	—	AMED
	特許出願	オリゴ核酸合成技術の開発	2016年度～ 2018年度	—	—

NEDO : 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
 兵庫県COE : 兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム）  
 AMED : 国立研究開発法人日本医療研究開発機構



### 3-3. 研究投資計画 自社研究の推進 (2/2)

- 低分子医薬やバイオ分野においても研究を実施し、創薬会社へのライセンスアウトや研究・開発ステージの受注を目指す

#### 研究開発活動とその成果

分野	現時点の成果	研究テーマ	期間	主な共同研究先	競争的資金/事業母体
低分子 医薬	大日本住友製薬(株) ライセンス契約	Ras のシグナル伝達に関わる有望な化合物の創製	2009年度～ 2015年度	神戸大学	医薬基盤研 厚労省科研費
	特許出願	LAT-1選択的阻害活性を有する化合物の創製	2011年度～	大阪大学	医薬基盤研
	特許出願	アルギニン-バソプレシン1b受容体拮抗作用を有する化合物の創製	2012年度～ 2013年度	京都大学 大学発ベンチャー	—
	特許出願	メモリー型T細胞活性化材の開発	2014年度～	大阪大学	—
バイオ	ノウハウの蓄積	革新的バイオマテリアル実現のための高機能化ゲノムデザイン技術開発	2012年度～ 2016年度	神戸大学 等	経済産業省
	ノウハウの蓄積	テロメラーゼ活性検出プローブ化合物の開発	2015年度～ 2017年度	九州工業大学 等	島根県
	ノウハウの蓄積	植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発 (助成事業/委託事業)	2016年度～ 2020年度	キリン(株) (株)竹中工務店 味の素(株) 等	NEDO

医薬基盤研 : 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
 島根県 : 島根県産業技術センター  
 大学発ベンチャー : 株式会社 京都コンステラ・テクノロジーズ



- 本資料は、当社の事業内容、業界動向及び成長戦略について、現時点における推定、見込み、予想または予定に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。既知或いは未知のリスク、不確実性、その他要因が、将来の展望に対する記述に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。本資料における将来展望に関する記述は、2018年3月15日現在において利用可能な情報に基づいて当社が行ったものであります。
- 今後、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載内容の更新・修正の義務を負うものではありません。